

# 木流川 詩の小徑ガイド



## 詩の小徑 発祥秘話

ここは手づくりの「何もない観光ルート」

詩の小徑に沿って流れる「木流川」は、かつてその名の通り山で刈った木材を運び、人々の生計を支えた川。その川を大切にしたいと地元「まちづくり友の会」「東八会」の人々が自ら薪を刈り、木を植えたのが小徑のはじまり。その後、並木には俳句や川柳を掲げ「詩の小徑」と命名。近年は高山植物も顔を出し、訪れた人を癒してくれる。「観光ルートといってもこの道には特に何もないんですよ」と語る小徑の管理人。しかし、川のせせらぎとともに小徑を歩けば、きっと感じるはず「何もない贅沢」を。

ここを曲がる。

素木庵

西伊賀のある昔懐かしい民家風建物「素木庵」。庭には山野草が咲き誇り自由に見学ができる。また一棟貸切で泊まることも可能。TEL.0261-72-2581 <http://park1.wakwak.com/~sukian>

4月には桜、6月にはアジサイの花が楽しめる。

川に沿って「スモモの木」が並ぶ。スモモの実は、取って食べてもOK。

4月にはキクザキイチゲや植樹した大山桜、5月にはカキツバタ、7月には野アザミ、シモツケソウなど季節ごとにさまざまな花々が咲き誇る。

小徑にたつ案内看板もすべて手づくり。

石垣の横の道を進もう。

小徑の案内看板がある。

丸太の案内看板。ここから「詩の小徑」がスタート。

「俳句・川柳」の投句箱を発見!自由に詩を書いて投稿してみよう。投稿された詩は、小徑の管理人が木札に書いて飾ってくれる。

疲れたら石のベンチでひと休み。

「春木場」の案内版。かつては上流から流した材木をここで引き上げていた。

一面そば畑。新そばの季節には「白馬のそば」も味わって。

北アルプスをバックに巨樹が立ち、田舎が広がる地元の人のおすすめスポット。

橋を渡って「大出の吊橋」へ。

丸太の案内版。「詩の小徑」はここで終了。大出公園から来る場合は、ここが入口。



花ごよみ	4月	5月	6月	7月	8月
キクザキイチゲ	キクザキイチゲ		アジサイ		
サクラ・コブシ		サクラ・コブシ			
カキツバタ		カキツバタ			
スモモ		スモモ			
野アザミ			野アザミ		
シモツケソウ			シモツケソウ		
スモモの実				スモモの実	

川沿いに立つ木には、いろんな詩が飾られている。